

コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ  
～2020年5月5日（火）17時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

5月4日（月）～5日（火）

- 5日（火）15時現在、州内感染者数は前日比1866人増（+6%）の3万4053人，うちサンパウロ市が2万1140人，オザスコ市が971人，グアルーリョス市が849人と続く。州内死者数は同197人増（+7%）の2851人で，うちサンパウロ市が1801人。全体の致死率は8.4%，60歳以上の死者は全体の73.4%を占めるが，サンパウロ市内では今回，2人目の幼児（1歳）の死亡が確認された。感染が確認されているのは州内645市のうち344市（前日334市），死者は158市（同153市），入院感染患者数は約9300人（同9千人），州内ICUの占有率は3日（日）時点で68.9%（前日67.9%），サンパウロ大都市圏内は同86.9%（前日88.8%）と増加傾向が続く。
- 4日（月）のサンパウロ州の社会的隔離実施率は47%（前日59%），サンパウロ市の同実施率は48%（同58%）。50%以下は以前より「黄信号」とされる。なお，州地域開発局は5日（火），州内内陸部や沿岸部での感染拡大は，社会的隔離の実施率低下と関連しているとの分析を発表。同分析によると，3月17日時点で感染が確認されていたのはサンパウロ大都市圏の9市で，死者はサンパウロ市内のみであったが，その後45日間で感染が州全域に拡大，中でも4月15日～30日の期間においては，イタペーバ，レジストロ，バレットスの各地域での感染者数の増加が著しかった。
- 4日（月），サンパウロ州政府は，ブタンタン研究所の研究者が生物工学分野の先端技術を取り入れながらコロナウイルスのワクチン開発を進めると発表。同ウイルスに対する様々な免疫応答を人体においてより効果的に引き出すことが目的。
- 4日（月），ドリア・サンパウロ州知事，州保健局長，地域開発局長，経済開発局長らが州内人口20万人以下の市長とビデオ会議を実施。同州政府による総合的なコロナウイルス関連施策「Plano São Paulo」の概要を説明するとともに，各市の感染状況の把握や感染拡大防止に向けた取り組みなどを共有した。
- 4日（月），サンパウロ州政府は，パウリスタ州立大学（Unesp）とブラジル大手航空機メーカーEMBRAERが，サン・ジョゼ・ドス・カンポス市（同メーカーの本社所在地）やアララクアラ市，ボツカツ市一帯体におけるコロナウイルス検査（PCR）約4万件の実施に向けて提携したと発表。
- 4日（月），サンパウロ市は緊急公衆衛生対策をまとめた条例17340号（1日（金）付）を告示。
- 5日（火）18日現在，サンパウロ市内の仮設病院の入院感染者数は622人で，同日までに累計1170人が退院している。

2 マット・グロソ州

5月5日（火）

- 5日（火）17時現在，州内感染者数は前日比22人増の366人，うち州都クイアバ市が148人，ロンドノーポリス市が50人，シノピ市が21人と続く。入院患者数は29人。州内死者数は前日同様13人。統一医療保健システム（SUS）に参加する州内病院におけるコロナウイルス感染者向けの集中治療病床の空きは96床（占有率7.7%）と一般病床は395床（同2.0%）。

3 マット・グロソ・ド・スル州

5月5日（火）

- 5日（火）午前11時現在，州内感染者数は前日比9人増の283人，うち州都カンポ・グランデ市が142人。州内死者数は前日同様10人。同日までにカンポ・グランデ市で実施されたドライブスルー形式のコロナウイルス感染検査では，1210人中28人が，ドウラードス市では77人中41人が，トレス・ラゴアス市では41人中4人が陽性反応を示した。（了）